

国府地区まちづくり協議会 活動紹介

《国府地区まちづくり協議会》

・地域の成り立ち/地域の現況と今後の課題解決に向けた基本的な進め方

国府地区は鈴鹿川右岸に位置し、古来から交通の要衝にあり王塚古墳を始めとして、県内屈指の古墳群をはじめ、数々の歴史的、文化的遺跡や遺物とともに多くの伝説や民話が語り継がれています。

昭和初期には、鈴鹿海軍工廠等の軍施設が設置され、特に戦前は軍施設の従業員数の増加、戦後においても基幹産業の農業のみならず、旧軍施設跡等に本田技研工業をはじめとする平和産業が誘致され、利便性の良さから居住地として、団地等が開発されました。その後、地区内や周辺には鈴鹿サーキット、イオンモール、回生病院等が誘致され暮らしやすい環境を維持しています。

しかし近年、国府地区は高齢化率の上昇とともに、子供の人数も確実に減少しております。本来暮らしやすいとされてきたこの地域で居住する住民にとって今こそ現状から生じる多くの課題に翻弄されることなく、住民が一丸となって、将来のために課題解決に取り組むことが必要だと考えており、今進められている国府地区工業団地事業の企業誘致を含めて地域の住民に新たな雇用を生み出し、他地域の方にも国府地区に住んで頂ける様な課題解決への取組みが、これからの、新しい国府地区まちづくり事業に向けて不可欠なことだと考えております。

・国府地区が目指す将来像（国府地区まちづくり協議会基本目標）



「思いやりにあふれ だれもが心豊かに暮らせるまち国府」を目指して日々取り組んでおりますが、少子高齢化が進む中で5年後、10年後先を乗り切る為には組織や仕事の中身を、抜本的に見直しして行かなければなりません。その為にも行政と力を併せ取り組んでいきたいと思います。

（国府地区まちづくり協議会 内納会長談）

・令和7年度各部会別活動紹介（一例）

■ 安全・安心部会

（第3回 大規模災害に備えた地域防災体制訓練（第3回 まちづくりフェスティバルの開催）

■ 地域活性化部会



■ 子ども育成部会

- ・小・中学校におけるリーダー育成活動
- ・あいさつ運動の啓発活動

■ 福祉・健康部会

- ・生活支援幸ネットの活動と拡大

《今回紹介するのはこの事業》

【事例①】

第3回：令和7年 国府地区まちづくり協議会 防災訓練

＊今後予測される南海トラフ大地震に向けて、住民の生命を第一優先として活動している事業です。

令和7年 国府地区まちづくり協議会 防災訓練

「避難所開設訓練スナップ」
R7・9・21(日) 鈴鹿市立平田野中学校内

開会式(内納会長挨拶)



国府消防団長と鈴鹿市来賓



オリーブBOX詳細内容の説明



段取り事前Check(豊田安全・安心部会長)



避難所開設訓練スタート(受付)



避難所開設訓練(区割り)



各班別状況付与訓練カード



救護班開設訓練の様子



物資班開設訓練の様子



管理班開設訓練の様子



災害対策用プライベートルーム展示



避難所開設訓練終了後/各班別総評



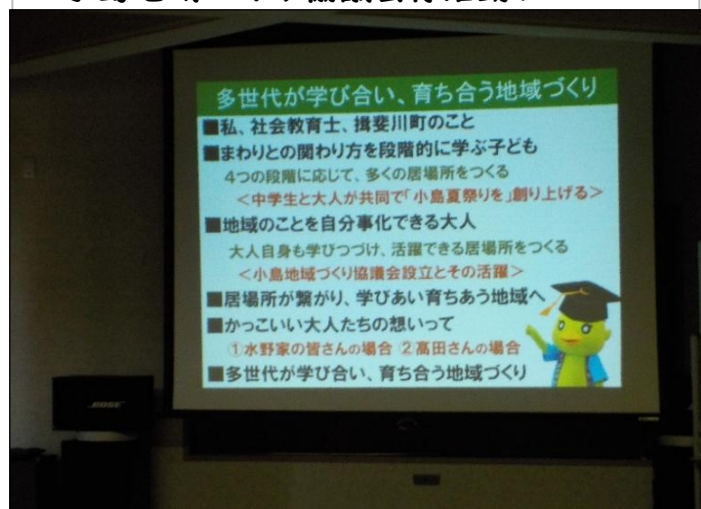
当日の訓練の学びと成果/今後の展開



【事例②】

- ・隣県から国府地区まちづくり協議会に視察研修の交流会受入れの打診があり快諾させて頂きました。
（R8・3・24 岐阜県揖斐川町小島 地域づくり協議会様との交流会開催）

小島地域づくり協議会様活動プレゼン



視察研修・交流会終了後の集合写真



《他県との交流会で学んだ事》

- ・交流会を通じて、地域特性を活かした地域づくりの取組みや考え方が重要だと改めて実感しました。又、今回得ました知見を国府地区まちづくり活動にも活かしていきたいと考えております。